

【住宅】「フラット35」新制度を活用した居住誘導の推進

【福岡県北九州市】

背景・課題

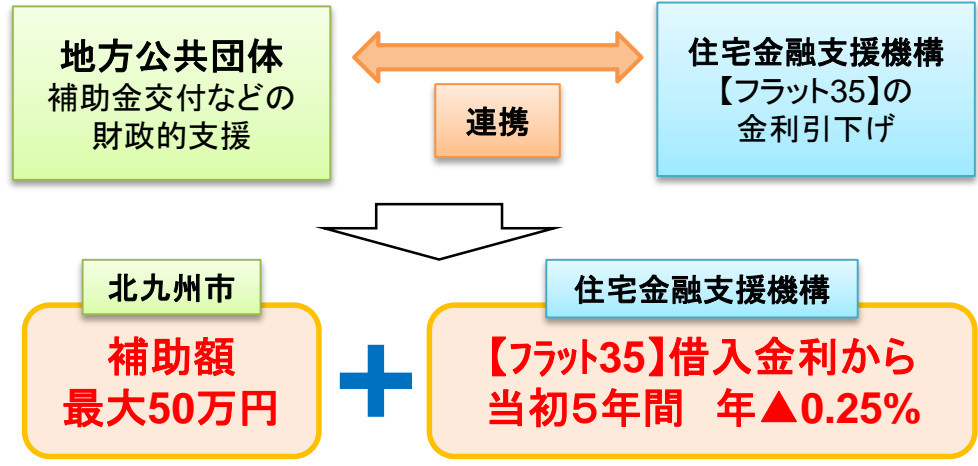
- ・少子高齢化、人口減少問題は喫緊の最重要課題
 { 人口 976,846人(H22)→961,286人(H27) △15,560人：全国最多
 高齢化率 29.3%(H27) 政令市第1位 }
- ・北九州市への定住・移住を強力的に推進する事業をH28創設
- ・今後は生活利便性の高い区域への居住誘導によるコンパクトなまちづくりの推進が必要 (H29.4に北九州市立地適正化計画を公表)

住宅金融支援機構の「フラット35」と連携して、居住誘導区域内等への居住誘導を推進

- ・平成29年度から、市は、「住むなら北九州 定住・移住推進事業」に基づき、街なかへ定住・移住しようとする者に対する財政的支援を実施。
- ・当該事業の認定者のうち連携の要件を満たした者を対象に、住宅金融支援機構において、住宅ローン「フラット35」の金利を引き下げ。
- ・立地適正化計画に定める居住誘導区域等への定住・移住を要件とすることで、利便性の高い公共交通沿線等に居住を誘導。

■住宅金融支援機構の住宅ローン【フラット35】地域活性化型

地域活性化に関して積極的な取り組みを行う地方公共団体と住宅金融支援機構が連携し、UIターンやコンパクトシティ化に資する住宅取得について、地方公共団体の財政的支援とあわせて【フラット35】の借入金利を一定期間引き下げる制度。



■北九州市の定住・移住に関する財政的支援

【住むなら北九州 定住・移住推進事業】(平成29年度創設)
 定住・移住を強力的に推進するため、一定要件を満たす街なか(※)の住宅を取得等する費用の一部を補助する事業。
 ⇒住宅取得費用に係る補助(最大50万円)

- ①市内に転入前又は転入後2年以内の2人以上の世帯等が、街なかの新築又は中古の住宅を購入する場合に補助 又は、
- ②市内に居住し、市外へ勤務する39歳以下の新婚世帯が、結婚を機に街なかの住宅を取得する場合に補助

※街なか：居住誘導区域及び当該区域を含む町丁目のエリア

事業のイメージ

良質な住宅

北九州市

新婚世帯

世帯主50歳未満で親と同居又は近居

世帯人員2人以上の世帯

世帯主50歳以上で自己実現のために転入する世帯

居住誘導区域(北九州市立地適正化計画)

市街化区域

公共交通網

居住誘導区域

市内の定住促進・市外からの移住推進